

山梨県 森林環境譲与税の用途について（令和3年度実績）

事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実績値		税導入の効果	
		(A) + (B)	(A) 森林環境譲与税（千円）	(B) うち他の財源（千円）		担い手を対象にした研修・講習、求人イベント等			その他
						回数（回）	参加者数（人）		
事業支援システムの構築	森林施業履歴情報提供事業費	4,400	4,400		効率的な森林整備を推進するため、県システムを改修し、森林施業履歴を電子化する機能を追加するとともに、電子化した森林施業履歴情報を市町村へ提供。			<p>【ワンフレーズ】 税の活用により 県内27市町村のうち森林を有する26市町村の全てが森林管理に向けた意向調査に着手し、そのうち9市町村が森林整備事業を実施した。 また、担い手の育成に向け、令和4年4月、県立農林大学校森林学科を開講し、林業の現場で即戦力となる高度な知識と技術を備えた人材の育成に取り組んでいるところ。 更に、県産材の流通過程の効率化を図るため、木材を供給する川上側の林業と、川中・川下側の木材関連産業が連携した取り組みにたして支援など、サプライチェーンの強化を行い、県産材を利用しやすい環境づくりを進めている。</p> <p>【詳細】 効率的な森林整備に関する市町村支援として、既存の航空レーザ計測データ等を活用した精度の高い森林資源情報の提供や、施業履歴を電子化する事業を実施した。今後、市町村による意向調査、集積計画の作成等への活用が見込まれる。 担い手の確保・育成のため、「森林の担い手づくり強化対策事業」により、林業への就労に興味がある県内外の方々を対象とした森林・林業体験ツアーを開催し、山梨の林業の魅力をPRするとともに、インターンシップの実施支援を行い、就労希望者が円滑に林業に就労するきっかけを作ることができた。 また、高度な知識と技術を備えた人材を育成するため、専門学校県立農林大学校森林学科の設置に必要な施設整備等を実施した。 県産材の利用を促進するため、建築物の施主となる民間事業者や県民を対象として、利用の意義等について意識醸成を図ることができた。 更に、供給体制の強化、製品開発を通じて、県産木材の需要拡大につながっている。</p>	
人材育成・担い手対策支援	森林の担い手づくり強化対策事業費	3,841	3,841		持続可能な森林経営の実現のため、林業の担い手となる人材を確保・育成するとともに、所得向上を図るための取り組みを実施。	6	63		
	林業の担い手育成機関整備事業費	39,450	39,450		持続可能な森林経営の実現するため、林業の担い手を育成する人材育成機関の設置に向けた施設整備等を実施。				
木材利用の推進	県産材供給システム強化対策事業費	(13,061) 8,353	(13,061) 8,353		県産木材のサプライチェーンの強化を図るため、流通体制を構築する企業グループ（素材生産や製材工場、工務店などで構成）の取り組みに対して補助する。				
	やまなしの木マーケット開拓事業費	2,269	2,269		木材需要の増加が期待される東京圏や海外に向けて県産木材の販路拡大を図るための取り組みを行う。				
普及啓発の支援	ウッドチェンジ事業費	1,485	1,485		木材産業関係団体、商工関係団体等で構成するネットワークにおける県産木材利用促進の体制づくり、建築技術者の育成の取り組みに加え、県産木材の良さや利用の意義等に関する普及啓発を実施。				
	森林環境教育推進事業費	2,306	2,306		森林体験活動と木育を広めるため、教育機関等が実施する森林体験活動や木育活動に対する企画等の支援、木育スペースの設置に対し助成する。				
計		(66,812) 62,103	(66,812) 62,103						

※（ ）内は次年度繰越額含む

※基金積立は記載していない